

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立太田小学校
校長氏名	田窪 佳寿子
作成日	平成30年(2018年) 2月26日

1 教育目標

創造的な知性と豊かな情操に根ざして、自他の人格を尊重し、正しく強く生きぬくたくましい人間の育成をめざす。

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を積極的に発信し、保護者や地域との連携や信頼関係づくりに努める。 ○学校開放月間等を活用し、保護者や地域の方々に教育活動についての理解を深めていただく。 ○学校関係者評価委員、学校評議員との連携を深め、よりよい学校運営に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と教職員、児童同士の人間関係づくり、仲間意識づくりに努める。 ○集会活動や体験的な活動の充実を図り、自尊感情を育てる。 ○道徳教育・環境教育・読書活動等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語科を核として言語活動の向上に努める。 ○指導の工夫改善を行い、教員の授業力、児童の学力の向上に努め、どの子もわかる授業をめざす。 ○一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。 ○家庭学習の充実を図る。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り(表裏)、学年便り・保健便り・学級通信やHPにおいて、積極的に学校の教育活動を地域や保護者に発信した。また自治会長様に地域への発信協力を願った。 ・読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間の授業、ふれあい給食等、PTAや地域の方々に協力依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を児童会と各学級持ち回りで実施した。また、縦割りの風の子活動を通して交流を深めた。 ・地域の学習材を活用した体験学習を1・2・3・5・6年生において実施することができた。 ・読書活動の推進(読書○○ページに挑戦等)を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動や伝え合う活動を重視し、個の学びを深めることができる授業に取り組んだ。 ・基礎学力の定着を図るために、授業の工夫、太田タイムの利用、家庭学習(自主勉)の充実を図った。 ・個の実態に合わせ、個別指導や取り出し指導、TT指導等の学習指導を行った
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りは表裏印刷で、学習活動は写真を用いて掲載した。また、HPには学年行事を随時投稿するようにし、広く知らせることができた。 ・地域の方々との交流が深まった。 ・より多くの保護者に学校行事に参加してもらえるよう、更なる手立てを考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動にも工夫(愛タッチ運動)がみられ、校門であいさつできる児童が増加している。 ・豊かな体験活動や様々なゲストティーチャーの授業は、子どもたちの心を耕すよい機会となっている。 ・読書に親しむ児童が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業や参観授業(市・県教委・指導員・管理職等)を通して、研究主題に迫る実践ができるよう意欲的に取り組んでいる。 ・全国学テ(6年生)は、ほぼ全国平均、県到達度検査では、4年生が県平均より国・算とも高いが、5年生では、算数の知識理解・技能に課題がある。
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは、子どもたちの活動のみならず保護者への啓発を行う。また、PTA活動を広報する枠を設け、発信できるようにする。 ・アンケートを様々な機会に実施し、保護者や地域の声を聴く。 ・コミュニティ・スクールを立ち上げる準備の年とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験活動の中で、道徳的実践力を育む。 ・子どもたちの規範意識の醸成・向上をめざし、学校と家庭の連携・協働を進める取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の研究を進め、深めることで、全教科において伝え合う力の育成を図る。 ・基礎基本の徹底を図り、自ら学び、課題を解決していく力を育む学習指導を推進する。

3 その他の課題

・北校舎3階4年生の床を校務員や担任が修繕しているものの、微妙な段差が何か所もでき、床の全面改修に向け、教育施設課に今後も強く要望していく。
 ・校舎内外の整備(ペンキ塗りや修繕等)を計画的に行っていく必要がある。

|

|